

授 業 概 要 （半期の場合の様式例）

授業のタイトル（科目名） 介護過程Ⅲ		授業の種類 (講義・ 演習 ・実習)		授業担当者	
レポート回数	面接授業時間数 45	印刷物授業時間数	配当学年・時期	必修・選択 必修	
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実務者研修課程で学んだ知識・技術を確実に修得し、活用できる。 ・生活支援技術における移動および排泄、衣服の着脱、食事、入浴等の介助等含む技術の確認 ・知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、体系的な介護（アセスメント、介護計画立案、実施、モニタリング、介護計画の見直し等）を提供できる。 ・介護計画を踏まえ、安全確保・事故防止、家族との連携・支援、他職種、他機関との連携を行うことができる。 ・知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じた介護を行うことができる。 <p>[授業全体の内容の概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実務者研修課程で学んだ知識・技術を確実に修得し、活用できるようにする。 ・知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、体系的な介護（アセスメント、介護計画立案、実施、モニタリング、介護計画の見直し等）を提供できるようにする。 ・介護計画を踏まえ、安全確保・事故防止、家族との連携・支援、他職種、他機関との連携を行うことができるようにする。 ・生活支援技術における移動および排泄、衣服の着脱、食事、入浴等の介助等含む技術を網羅的に介護できるようにする ・知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じた介護を行うことができるようにする。 					
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>① 介護過程の展開の実際 多様な事例を設定し、介護過程を展開させるとともに、知識・技術を総合的に活用した分析力・応用力を評価する。</p> <p>② 介護技術の原理原則の修得・実践とともに、知識・技術を総合的に活用した判断力、応用力を評価する。</p>					
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>中央法規出版株式会社 「介護職員等実務者研修(450時間研修)テキスト」 第3巻 「介護Ⅱ」 第3章 介護過程の展開の実践</p>			<p>[単位認定の方法及び基準]</p> <p>レポートは優、良、可、不可に区分し評価 優＝90点以上 良＝80点以上 90点未満 可＝70点以上 80点未満 不可＝70点未満</p>		

